

会議録（要点筆記）

会 議 名	第3回米原市自治基本条例推進委員会
開 催 日 時	平成24年5月14日（月）午後3時00分～午後5時00分
開 催 場 所	米原庁舎 2A会議室
出席者および欠席者	出席者：今川会長、山本副会長、井上委員、鹿取委員、清水委員、 中村委員、堀委員、逢阪委員、土居前委員、安田委員、米澤委員、 松宮委員、岩山委員 安田広報秘書課長補佐、棕田防災危機管理局副参事 【事務局】平居政策監、田中政策調整課長、仲谷政策調整課長補佐、 坂主査、中畠主任、三輪 欠席者：なし
議 題	市と市民の情報共有について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民側の取組として「関心」を高め、積極的に情報を受け取り、市民自らアクションできるための手法について検討する。 ・次回までに他市の事例などを事務局で示し、対策の具体案について議論を進めていく。 ・行政内部の情報発信・共有についての課題は、問題点解決に向けたアクションを。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の推進委員会での議論の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・市民側での行政の発信する情報を受け取る手立てが不十分。 ・市民にどう伝えて、それを受けた市民がどう学ぶか。市民の間での伝え方も必要。 ・『情報伝達の方法や情報を通じた問題提起の方法』について議論を深める。 2. 現状の市の情報発信媒体について説明（事務局） 3. 議論 <p>今期の推進委員会のテーマを『市民と市の情報共有』とし、今後、提言に向けた議論を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現行の市役所における「市民との情報共有の仕組み」の良い点、悪い点、その他意見 <p>[個々の情報発信媒体について]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊吹山テレビをもっと充実させるべき。加入のメリットが感じられるワンランクアップした対策が必要ではないか。

- ・広報まいばらの記事に対して「意見が言える」「投げかけができる」働きかけを。『市長への手紙』は敷居が高い。気軽に意見が言えるように（問題提起型広報）。
- ・広報に載っている記事は表現が難しい。市民に知ってほしいことは何か、表現と紙面の工夫を。
- ・区の配布物が多すぎる。無駄な情報もあるのではないかな。
- ・メール配信サービスの配信数が少ないのではないかな。メール配信の登録数を増やし有効なツールとするためにも、発信数を増やさなくては。
- ・市民からの意見を反映させるためのルートは整っているのかな。
- ・モニター制度を導入してはどうか。
- ・パブコメの意見が少ない理由は何かな？そのための改善策は？
- ・情報発信の場・意見聴取の場として区長会をもっと活用すればどうか。
- ・情報も、行政組織と同様に縦割りである。

[情報発信の手法について]

- ・計画等は途中経過を示さずに出来た案だけを公表し、パブコメで意見を求めても、意見など言えない。本当に意見が必要ならば、個別の地域説明会や懇談会で意見を求めるべきでは。
- ・重要な案件・計画は作る過程で市民参加と公表が不可欠。何度も何度も市民意見を聞く場を設けるべき。例えば庁舎の在り方や地域防災計画等のように市民生活に直結する重要な案件は市民の生の声を聞く機会を段階ごとに設けるべきではないかな。
- ・情報発信する際には、市民の意見が返ってくるような出し方や仕組みが必要。回答できないような出し方になっていないかな。
- ・市民の自主自立の活動を促すような制度、例えば地域創造支援事業等をもっと広報が必要ではないかな。市民が自分達にもできると思えるような投げ掛けがない。情報不足。
- ・職員チームの提案からも内部の課題は把握されていると感じた。発信のツールは整っていると思う。あとは機能するための仕組みを整えれば良いのでは。

●情報を受け取った市民が、どのように情報を活用するのか

[現状と課題]

- ・市民にもこれまで「市にモノを言う」という習慣が無かった。市からの意見を取り入れたいという強い語りかけがあれば変わるのかも。
- ・「市民の自立」への意識が薄い。自分たちの税金がまちの運営に使われているのに関心が薄い。
- ・市民は情報を受け取ることだけに慣れてしまっている。
- ・行政への意見は知っている職員に直接話すことが多い。人と人とのつながりを活用した情報収集の手段が必要ではないか。
- ・市民は、意見を言うことは勇気が必要で、難しいと思っている。またどこに言えば良いのかも分からない。フィードバックが欲しい案件については、やはり直接対話するしかない。
- ・自分の生活に直接関係の無いことにまで関心を持つのは困難。自治の力を高めるための研修や啓発が必要。
- ・市民が行政におんぶに抱っここの部分もある。市民も土壇場になってから関心を示しているのでは遅い。
- ・区報や区内の小さな単位での寄り合いをもっと活用し、市民間の情報共有の場にすると良いのではないか。
- ・「関心」が無いことに尽きる。市民が「関心」を持つためにはどうすれば良いか。

[会長のまとめ]

- ・市民は意識を高め、行政への参画が進むための仕組みを構築すること、行政は「情報の共有」について内部の仕組みの課題を解決することが必要。
- ・事務局で他市の先進的な事例等を調べ、市民側の取組について具体策を議論していく。
- ・次回は9月に市民、職員を対象に、情報共有をテーマにして研修（講演会）を予定している。次々回の推進委員会は11月12日（月）。

<p>会議の公開・非公開 の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>公開 傍聴者：<u> 0人</u> <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開 一部公開または非公開とした理由 () </p>
<p>会議録の開示・非開 示の別</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/>開示 <input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：) </p>
<p>全部記録の有無</p>	<p> 会議の全部記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無 録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無 </p>
<p>担 当 課</p>	<p>政策調整課 (内線91-244)</p>